

《職場集会資料》



3年連続の賃上げにむけて!

2016県労連賃金確定闘争



10. 25 統一職場集会

2016年 神奈川県、人事委員会が勧告!
国よりも多く、月例給0.20%引き上げ!
3年連続のプラス勧告!!!

神奈川県の勧告内容

人事院の勧告を受けて県人事委員会は、10月12日、神奈川県知事と県議会議長に以下のことを勧告しました。

- ① 月例給、公民給与の較差は平均 784 円 (0.20%) 給料表を引上げ
- ② 地域手当の支給割合を 0.1% 引き上げて、11.6% に改定

さらに、2017 年 4 月からは、11.8% に引き上げ。

- ③ 勤勉手当を 0.10 月分引上げ

年間支給月数 4.20 月 → 4.30 月) 引上げ分は勤勉手当に配当。

- ④ 扶養手当の見直し 人事院の報告における配偶者及び子にかかる手当額の見直し等の内容を考慮して改訂。

- ⑤ その他の給与上の課題

○教職員の管理職手当の見直し

○再任用教諭の給与

団結して、勝ち取ろう!

今後とりくみが大事です!

勧告を実現させるために、各分会が団結し、
裏面のとりくみを確認してください!

執行部のつぶやき



先日、書記局の倉庫に 1981 年～写真アルバムをみつけ若い頃、役選集会の壇上にいる写真を見つけてしまい、とっても恥ずかしくなりました。今から 35 年前のことで記憶があるうちに少し触れてみます。初任の中学校では 1 年生の協力担任でした。そして組合員としてなすがままに割り振られた動員参加（日比谷公園や横須賀）藤沢市民会館での定期大会、教研集会、署名や護憲活動、総決起集会、平和行進、役選集会、善行の体育センター（現在テニスコート）でのバレー大会、組合主催のソフトボールの大会など、記憶がよみがえりました。その後、私にとって、受け身だった組合活動が、執行部に出たとたん目の前の課題が身に降りかかってきて、毎日頭を悩ませる日々でした。

とても勉強になった日教組労働学校では、国鉄民営化、サッチャーやレーガンの規制緩和による新自由主義、臨教審の本質を学習しました。そしてなにより、開催地の近くに足尾銅山があり、見学しました。短期間の執行部でしたが、その後の自分の人生が大きく変わったと考えています。いままで深く物事を考えなかった自分にとって、とっても理屈っぽい言い回しにハマッてしまい、彼女できない期間が続きました。とにかく毎日寝不足の日々、休日は朝から夕方まで熟睡、役選集会で分会のみんなから、寄せ書きの「枕」をプレゼントされた思い出があります。うれしかったな……。その年の夏だったと思います。湘南教育労働者友好訪中代表団に参加しました。「ひまわりの種」をぼろぼろ食べながら歩きまわり、激変している中国を目の当たりにしました。生まれて初めての海外旅行が中国でよかったのは、訪中国の方が教育関係、湘南地区の先生方と執行部の方たちだったから心強かったな。北京から飛行機、列車を乗り継ぎ、タクラマカン砂漠、敦煌の莫高窟の仏像や、壁画の実物を見ることができ、すごく感動したことが思い出されました。中華人民共和国の国歌『義勇軍進行曲』の作曲者として知られる鵠沼海岸で終焉を迎えた聶耳（ニエアル）が日本に来たことによって、日本と中国友好関係を築くきっかけとなり、足跡を残した鵠沼海岸に記念広場が作られた他、生まれた都市、中国の昆明と藤沢市は姉妹都市を結び、現在も交流が続いています。その後も湘南教育労働者友好訪中代表団に参加して長江下りや自分で香港から中国に入り、桂林を訪れたこともいい思い出です。ほかにも、福利厚生会のディズニーツアーやスキーには何度となく参加させていただきました。ちょっと昔のつもりが、あっという間にあと 1 年で教員生活を終えようとしている自分に驚嘆です。是非若いうちにいろいろな事に自由にチャレンジして幸福な人生が送れるといいですね。

★ 教 文 研 ラ イ ブ ラ リ ー ★

★ 新規 DVD 紹介 ★

湘南教育会館 3 階にて無料貸し出し中です。あらかじめ湘南教組に連絡してもらえると、貸出し中か確認できます。

「パパママバイバイ」アニメ(75分)

住宅地に米軍機が墜落し、幼児と母親が亡くなる事故を描いた作品です。1977 年に横浜で起こった実話を描いたもので、救助へは怪我人を助けず、パラシュートで脱出した米兵のみを連れ帰り、米兵は不起訴という事実があります。



「ジョン・ラーベ」

～南京のシンドラー～(134分)
南京事件を描き、南京を攻略した日本軍による暴虐を描いている。主人公、ジョン・ラーベを始めとして南京に留まった欧米人たちは結束して日本軍の暴虐、あるいは戦火から無実の中国人市民を守ろうとする戦いを描いた作品。



「おかあさんの木」

アニメ版(22分)

小学校の国語教科書に長期にわたり掲載された大川悦生の児童文学を基に、7 人の子どもを戦地に送り出した母の愛を描いたヒューマンドラマ。貧しいながらも子どもたちを育て、戦地へ行った息子らを待つ母親を描きます。



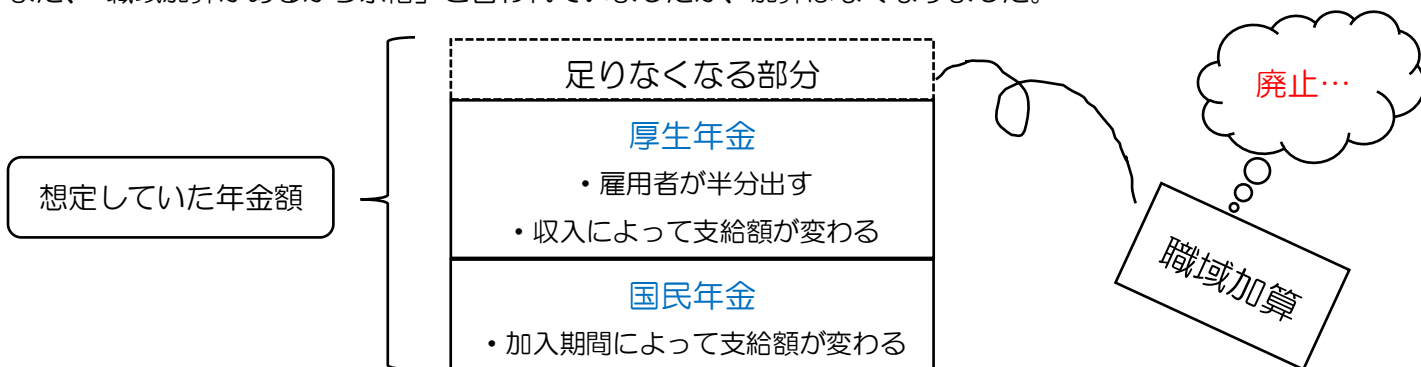
個人型確定拠出年金スタート？！

心配になりませんか？年金の話…

最近、「老後の備えが足りるのかどうか気になる」「公務員の年金が少なくなるって、どういうこと？」など、心配の声があちらこちらから寄せられます。簡単にお答えすると…

心配してください。足りなくなりますよ！

これまで公務員は「共済年金だから安心」と言われていましたが、現在は「厚生年金」に変わっています。また、「職域加算があるから余裕」と言われていましたが、加算はなくなりました。



公務員も自分の年金を自分で考えていかなければならない時代がやってきました。

今の生活水準を保ち、その上「退職後は旅行でも…」「趣味を見つけてのんびりと…」と考えるのであれば、公的年金だけに頼っていては足りないのです。

湘南教組では、退職後のゆとりある生活のために考えておくべきことについてみなさんの疑問にお答えできるよう、分会オルグや学習会の準備をしています。今回のキーワードは「**個人型確定拠出年金**」です！



神奈川県教職員スポーツ大会 開催日時・場所

★ソフトテニス……11月19日(土)9:30開会[横山公園テニス場]

★バレーボール……11月23日(水・祝)9:30開会[南足柄市体育センター]

★卓球……11月19日(土)9:30開会[川崎市麻生スポーツセンター]

★バスケットボール…11月19日(土)9:30開会[横須賀市立横須賀総合高校]

★サッカー……11月23日(水・祝)8:30開会[伊勢原市総合運動公園・伊勢原市立成瀬中学校]

※当日の昼食(弁当)は用意します。



9.19 国会前総がかり行動



湘南教組からも執行部をはじめ、鎌倉・藤沢・茅ヶ崎・寒川の各地区の分会から多くの組合員の方々が参加しました。教え子を再び戦場に送らないためにも、今、私たちが声をあげて、積極的に行動することの大切さを改めて感じた集会でした。

9月19日、国会前では「憲法9条を無視する形で集団的自衛権の行使を認めた強行採決を忘れてはならない」とする集会が開かれました。この日は強行採決のあの時と同じように、雨が打ちつける天気となりましたが、主催した「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」の発表によると、国会前に集まった人々は、全国から約2万3000人。雨の降る中、野党幹部、8月に解散した学生グループ「SEALDs」の元メンバーらがスピーチし、抗議の声をあげました。

9.22 さよなら原発・さよなら戦争大集会

朝からの雨が降り続ける中、9500人が参加して集会が始まりました。原発被害者団体連絡会（ひだんれん）の長谷川健一さんは「メディアの報道は、福島第一原発を取り上げることは少なく、復興のことばかり伝えている。しかし、ふるさと飯館村の状況は悲惨。村に置かれたフレコンパックが7月現在で180万個。毎月約10万個増える中で、政府は、来年3月にも避難指示解除するので、帰る人は自己責任で帰りなさい、と言っている。それはおかしい。我々は安全に帰ることを求めている。」と訴えました。

「避難の権利」を求める全国避難者の会の中手聖一さんは、「私は福島から札幌に避難し、同じ境遇の5人の仲間と会社を立ち上げた。いまは11人に増えた。初めは移住をめざして来た人たちだったが、最近は母子避難の方が増えている。皆さん貯金が底をつき、支援が切られようとしている人たちで、少しでも稼がなければとパートの仕事を始めた。私たちは止むを得ず避難した。そこに強制避難か自主避難かの違いはなく、私たちには避難する権利があるのだ。にもかかわらず、必要な補償が受けられない。この国は私たちに、帰還して被ばくを受け入れるか、避難して貧困を受け入れるか、その選択を押し付けている。生活再建、自立のために欠かせない、自主避難の住宅支援を継続させることをこれからも求めてゆきたい。」と訴えました。

集会はこの他にも、北海道の高レベル放射性廃棄物処分問題、高校生1万人署名運動、福井県のもんじゅ、原発再稼働問題について報告がありました。また、作家の澤地久枝さんや詩人のアーサー・ビナードさん、俳優の木内みどりさんが現状について発言しました。

雨も上がり、参加者が「許すな、原発再稼働！」「奪うな、原発事故被災者の住い！」と声を挙げて集会は終わりました。

